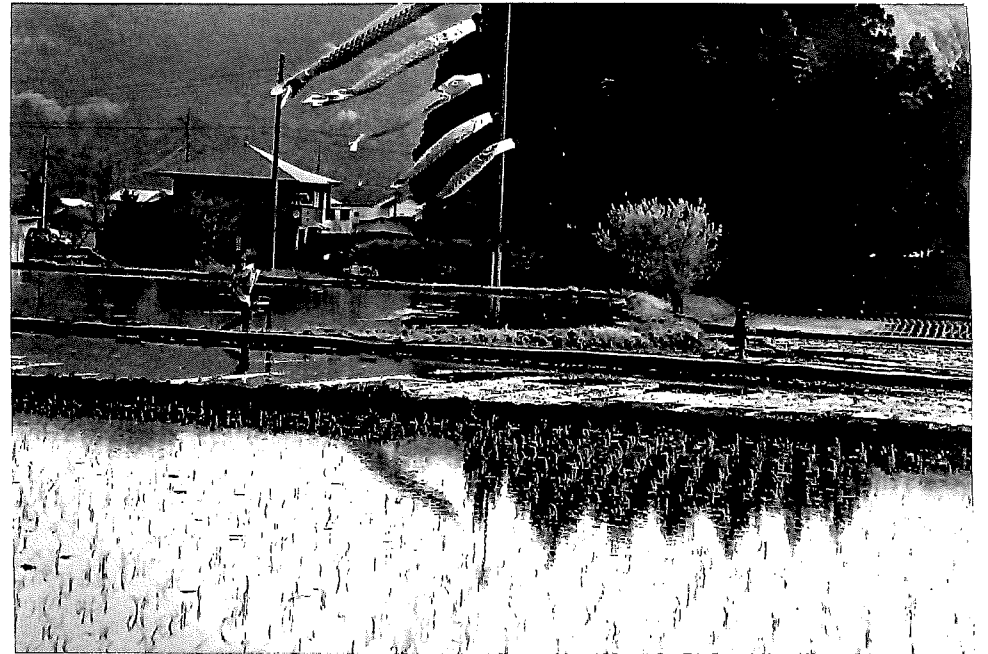


たまいたま 川柳



梅雨

巻頭言

信のつとむるに

願法みつる

「中国の街には制服姿の大人が多い。彼らは何？」
警官・軍人・消防署員・税務署員：？言われてみれば
天安門広場のそんな風景を思い出しますが、それでも最
近は減ってきているような気がします。答は全部のだ
とか。

中国では彼らの制服姿は揃って警官風であり、休養日
でも外出には制服着用が奨励されているというのだが。
面白いのはその理由。性悪説を根拠とする中国の社会で
は、人間の悪性を発露させないために、その環境作りが
必要と考えられ、警官ないし警官風の人間の存在を意識
させるのだそうです。真偽の程は不明ですが。

悠久の歴史が、王朝や権力者の天変を今にまで綴って
いるお隣の国体を想像する時、性悪説の民族・国家とい
う現実には、複雑な思いが生じます。性善と性悪でせめ
ぎ合ってきた諸子百家の論が、今更ながら、生々しくも
現実味を帯びてきませんか。

近代日本を導いてきた先達が、西洋思想と東洋思想の
狭間から求め、植え付けてきた思想の根本は、性善なの
か性悪なのか。クイズのような問題提起である。

どこまで、同胞・仲間・隣人・行きずりの人間を信じ
ることが出来るのか・するべきなのか、悩ましい。

日日は好

願法みつる

雑魚故に天命のまま群れて生き

摩天楼見上げもぐらの高笑い

猫だけが闇夜も裏の道を知り

首の根を政治と鰻押さえっこ

外交で本音を言っちゃお仕舞いよ

来年の月への移転視野に入れ

そう言えば月にはどんな神がいる

階段は矢張り無かった虹の橋

逃げようもない貧しさは詩人なり

平成27年

6月号 (No.667)

日川協加盟